

第1回 奈良市もてなしのまちづくり推進委員会 会議録		
開催日時	平成29年2月24日（金）13時00分～15時00分	
開催場所	奈良市役所 北棟6階 第17会議室	
議 題	1 開会 2 報告事項 (1) 第2次奈良市もてなしのまちづくり推進行動計画について (2) もてなしのまちづくりに関する取組状況について 3 案件 (1) 今後の進め方について ① (仮称) 奈良市もてなしのまちづくり推進協議会の設立 ② 第2次奈良市もてなしのまちづくり推進行動計画における重点項目に対する働きかけ ③ もてなしのまちづくりに関する取組の洗い出し 4 その他 5 閉会	
出席者	委 員	中山 徹 委員長、柳井 尚美 副委員長、井阪 英夫 委員、井上 芳恵 委員、中川 直子 委員【計5人出席】
	事務局	澤野井市民活動部長、松田市民活動部次長、矢倉協働推進課長、今井協働推進課課長補佐、事務局（協働推進課まちづくり推進係）
開催形態	公開（傍聴人0人、報道関係者0人）	
決定事項	<ul style="list-style-type: none"> ・奈良市もてなしのまちづくり推進会議の設立に向け、推進会議の位置づけやビジョン、目的を明確にした上で団体に協力依頼を行っていく。9月を目途に設立を目指す。 ・原課が、自身の事業がもてなしのまちづくりにつながるものであると認識できるような効果的な意識啓発の手法がないか、他自治体の成功事例を調査しながら検討することになった。 	
担当課	市民活動部 協働推進課	
議事の内容		
1 開会 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 堀田委員の奈良経済同友会事務局長退職に伴い、後任の井阪事務局長に委員交代となったことを事務局より報告した。 ➤ 澤野井市民活動部長から挨拶があった。 		
2 報告事項 <p>(1) 第2次奈良市もてなしのまちづくり推進行動計画について 事務局より資料1-1～1-3について説明。先日第2次計画を策定するとともに、広報啓発を図るために概要版（リーフレット）を作成したことを報告した。</p> <p>(2) もてなしのまちづくりに関する取組状況について 事務局より資料2について説明。もてなしのまちづくりに関する市としての取組件数が平成25年度以降大きく変化していないことを報告した。</p>		
3 案件 <p>(1) 今後の進め方について ① (仮称) 奈良市もてなしのまちづくり推進協議会の設立 事務局より資料3の1～2ページについて説明。福井市の観光おもてなし市民運動推進会議を参考にしながら、奈良市もてなしのまちづくり推進会議の設立に向けて取り組むこと、また関係する団体に今後協力依頼を行い、9月を目途に設立を目指すことを事務局から提案した。</p>		

- 主な意見・質問は以下の通り。
- ・協議会の設立に向けた取組が前回の委員会以降進んでいなかった要因を事務局としてどのように分析されているか教えていただきたい。(井上委員)
 - ⇒まず第2次計画の策定に時間を要したということがある。第4次総合計画と計画期間を合わせるために第2次計画の始期を平成28年度としたのだが、その計画の策定にも遅れが生じ、さらにそれに伴って協議会設立も遅れてしまった。(事務局)
- ・今回紹介いただいた4自治体以外にも全国に同様の事例はあるのか。(中川委員)
 - ⇒他にも同様の取組をしている自治体はある。一般的に、こういった取組は近い将来の大きなイベントに向けたものとして始まることが多い。本市のもてなしのまちづくり条例制定の契機は平城遷都1300年祭だったが、今後取り組んでいくにあたっては新たな目標の設定が必要であると思う。(事務局)
- ・(仮称)としていたとは言え、推進機関の名称を「奈良市もてなしのまちづくり推進協議会」ではなく、「奈良市もてなしのまちづくり推進会議」とする理由を教えていただきたい。(井阪委員)
 - ⇒事務局としてはゆるやかなネットワーク的な機能を果たすものにしたいと考えている。特定の団体に会員を限定するのではなく、広く門戸を開くとともに垣根の低いものにしていきたいという考えから、奈良市もてなしのまちづくり推進会議という名称を提案させていただいた。(事務局)
- ・実際にどのような形で団体に協力依頼をしようと考えているのか教えていただきたい。また公募は考えているか。(中川委員)
 - ⇒公募は考えていない。各課と協働でもてなしのまちづくりに関する取組をしている団体に対し、取組の所管課とも調整を行った上で個別に依頼していくことを考えている。ただし、それらの団体だけに限定するわけではなく、協力依頼が必要な団体が他にもあれば柔軟に対応していく。(事務局)
- ・かなり多方面の団体に協力依頼をされるようだが、推進会議としてどのような取組をするのがいまいちイメージできない。事務局としてどのような役割を推進会議に期待しているのかももう少し伺いたい。(中山委員長)
 - ⇒情報共有や、もてなしのまちづくりに関する取組の検討を行う場にしたいと考えている。特に後者については第2次計画に掲げる2つの重点項目(①訪日外国人旅行者、②60歳以上のシニア世代)に対する方策についてもご検討いただきたいと考えている。さらに、取組推進のツールとなるガイドブックなどを作成し、推進会議のメンバーに配布することも考えている。作成にあたっては推進会議からもご意見をいただきながら進めていきたい。(事務局)
 - ⇒推進会議が具体的にどういった役割を果たすのか事務局でもう少し整理していただいたほうが良いと思う。かなり多方面な団体が構成メンバーとなる以上、課題やテーマ設定も難しいと思うし、継続的な活動となるのか懸念される。(中山委員長)
 - ⇒私自身の活動経験から申し上げますと、推進会議が効果的に機能するためには、位置づけやビジョン、目的を明確にする必要があると思う。(柳井副委員長)
- ・1ページについて、「②活動の促進」に挙げられている、アダプトプログラム推進事業に登録している団体の活動は、自らの生活環境を維持・向上させるためのものであり、結果的に観光客にも関係するとは思いますが、「④観光の振興」に挙げられているような観光客対象の活動をしている団体とは取組の視点が違うように思う。そのため、推進会議でいざ集まって話し合う際に、テーマや課題の設定が難しいように思う。(中川委員)
 - ⇒中川委員の意見に関連して、1ページの「②活動の促進」にアダプトプログラム推進事業に登録している団体をはじめ4団体が列記されているが、この場合の「②活動の促進」は、「団体が活動を促進する」という意味ではなく、団体の活動を「行政が促進させる」という意味合いのものだと思うので、これらの団体が②にリストアップされるのは少し違和感を覚える。(井上委員)
- ・もてなしのまちづくり推進会議の会則(案)について、申請に対し、審査・許可するという手続きについても盛り込んだほうが良いのではないか。(井阪委員)
 - ⇒修正した会則案を再度委員の皆様にお示しさせていただく。(事務局)

②第2次奈良市もてなしのまちづくり推進行動計画における重点項目に対する働きかけ事務局より資料3の3ページについて説明。

- 主な意見・質問は以下の通り。
 - ・各課の意識啓発の方策の一つではあると思うが、これだけで十分な意識啓発が図られるわけではない。何かプラスアルファの手法を考える必要があると思う。他自治体の成功事例を調べてそれを参考にしながら進めていくと良いと思う。(井上委員)

③もてなしのまちづくりに関する取組の洗い出し事務局より資料3の4ページについて説明。

- 主な意見・質問は以下の通り。
 - ・取組件数を増やすだけでももてなしのまちづくりが進むわけではないので、件数増加が目的化しないようお願いしたい。(中山委員長)
 - ⇒洗い出しの際に、原課が自身の事業をもてなしのまちづくりに関する取組に該当すると認識できるような着眼ポイントを具体的に設定する必要があるのではないか。(井阪委員)
 - ⇒既存の取組を一工夫することで、もてなしのまちづくりに関する取組となるものもあるかと思う。例えば重点項目の一つである60歳以上のシニア世代を考慮し、広報物の文字サイズを大きくするといったことでもてなしにつながると思う。そういった具体的な着眼ポイントを設定することで原課もイメージしやすくなり、自然と取組件数の増加につながってくるのではないか。(中川委員)

4 その他
特になし。

5 閉会

以上